

ヒトの脳を守るためには！<1月27日（月）朝礼講話（教頭先生）>

教頭先生が参加した講演会のお話を子どもたち分かりやすく話してくれました。人間の進化のあとが脳にも見られます。一番古い脳は一番奥にある「ヘビの脳」その周りに「イヌ・ネコの脳」その周りに「ヒトの脳」があります。ヘビの脳は呼吸や心臓を動かす生命を保つ働きをする命の脳です。イヌ・ネコの脳は攻撃したり、ご飯を食べたりする原始的な感情で動く脳です。そして、ヒトの脳は嫌な子だけ許そうとか困っている子を助けようなどの思いやりを司る脳です。ゲームをずっとしていると、イヌ・ネコの脳が大きくなり、一番大切なヒトの脳が発達しにくくなります。そうすると、思いやりの心が育ちにくくなります。ヒトの脳をバランスよく発達させるには、太陽を浴びて外で遊ぶことが効果的です。本を読んだりお手伝いをしたりすることもよいようです。



声と気持ちをそろえて！<1/27 なわとび練習開始>

「なわとび集会」（2月13日（木）開催）に向けて、練習が始まりました。2限後の休み時間にふれあい班のペア班に分かれて練習をします。今年は、いつもの「8の字跳び」に加え、低学年と高学年の2グループに分かれて、みんなでいっしょに跳ぶ「みんなでジャンプ」にも挑戦します。練習が始まったばかりで、まだまだ失敗することの方が多いようですが、チームワークと工夫で、記録を伸ばしてくれることを期待しています。



授業力向上を目指して！<1/27 校内授業力向上研修>

来年度の新学習指導要領の完全実施に合わせて、先生方の授業力の向上を目指し、愛知教育大学数学教育講座准教授の青山和裕先生を講師に招き、研修を行いました。まず、5時間目に3年生の算数の授業を研究授業として全員で参観し、その後、研究協議会を開き、授業を題材にして、工夫・改善するポイントなどを話し合い、講師の先生からアドバイスを受けました。



昔はどの家にもありました?!<1/28 そろばん教室(3年)>

3年生の算数には、「そろばん」の単元があります。指導をするためには、専門的な知識や技能が必要なため、毎年、そろばん塾の先生を講師に招き、指導をいただいています。昔はそろばんがどこの家庭にもあり、多くの子どもたちがそろばん塾に通っていました。最近では、初めて手にする子が多く、講師の説明を聞き、戸惑いながら指で玉をはじく姿が見られました。

